とやま県政をぐっと 身近に!

富山県議会議員

井上学県政報告

令和元年 秋号

発行:自由民主党 富山県議会議員会

皆様、こんにちは。日頃から地域社会や県政の発展にご協力頂き、また、 私の議員活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り心から御礼申しあげ ます。

「令和」という新たな時代を迎え、新時代の幕開けとともに、私も皆様方のお力添えにより、2期目の任期をスタートさせることが出来ました。今任期の前半2年間は、党務では政務調査会の副会長として、また県議会では経営企画常任委員会の副委員長を拝命しました。責任感とやり甲斐を胸に、誠心誠意取り組んでまいりたいと思います。

地方創生が叫ばれて久しい中、東京一極集中が止まらず、地方の少子 高齢化、人口減少は進むばかりです。「令和」の時代の富山県は、この ような現実に向き合い、富山ならではの豊かさ、住み良さ、幸福度を問 い直し、県民自らが知恵を絞り、連携協力して行かなければならない時 代だと思います。県民の皆様の熱い期待と信頼に応え、県民の幸せと魅



力ある富山県づくりに邁進する決意であります。今後とも、皆様方の変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元年秋 富山県議会議員 井上 学

令和元年9月議会 一般質問

(1) 「富山県国土強靱化地域計画」の見直しにあたり、今後の県土の強靱化についてどのような観点に重点を置いて取り組んで行くのか、問う。

ポイント!

国では、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を決定し、国土強靱化基本計画を改定しており、県でも今年度、富山県国土強靱化地域計画の見直しが予定されている。

(石井知事)

県の「国土強靱化地域計画」の改定にあたっては、国の「国土強靱化基本計画」の改定を踏まえ、神通川・ 庄川等の河川改修や大規模土砂災害対策、富山高山連絡道路など災害に強い道路の整備等、これまでの 施策の進捗状況を考慮するとともに、①災害時には代替輸送ルートとして機能する北陸新幹線の整備促 進や東海北陸自動車道の暫定2車線区間の4車線化、②災害の未然防止や軽減のための取り組み、さら には、③集中的な大雪時における道路・鉄道等の交通の確保、道路管理者間の連携や待避場などのスポット対策等についても盛り込みたいと考えている。 (2) 道の駅は、地域振興や文化発信の拠点として更なる設置が望まれるが、今後の道の駅の整備についてどのように考えているのか、所見を問う。

ポイント!

道の駅は、防災拠点としての役割はもとより、人を集め、雇用を生むなど地域経済の活性化にも 貢献する施設として進化してきたが、県内では、呉西には 12 か所が整備されているのに対し、呉 東には3か所しか整備されていない。

(水口土木部長)

「道の駅」には、休憩・情報発信の機能のほか、地域振興や文化発信の拠点となる地域の連携機能がある。 道の駅の設置者は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体とされており、道の駅の更なる整備につい ては、地域振興や防災拠点の観点から、まずは各市町村において検討頂きたいと考えている。県としては、 道の駅の設置を希望する市町村から相談があれば、必要な助言を行うなど協力してまいりたい。

(3) (仮称) 富山南警察署の整備に伴い、突発事件等が発生した際に、直ちに招集に応じ、捜査活動等に従事できるよう、近接地に署員の待機宿舎の整備が必要と考えるが、どのように対応するのか、所見を問う。

ポイント!

(仮称)富山南警察署の人員は再編後大幅に増員されると聞く。また、管轄区域も広がることから、災害や事件・事故等が発生した際の初動対応に支障を来さないようにすべきである。

(大原警察本部長)

富山市内警察署再編後の(仮称)富山南警察署については、管轄区域が拡大し、管内人口も大幅に増加することに伴い、配置人員も現状の約2.5倍の150人規模を予定し、初動対応に万全を期すため、既存の宿舎に加え、警察署新庁舎に近接する県有地に警察官待機宿舎を新たに整備することとしている。整備にあたっては、民間資金を活用した事業手法、具体的には、民間事業者に事業用地を貸付け、事業者自らの資金で設計・建設・維持管理をし、家賃収入で本宿舎にかかる費用すべてを賄う独立採算型のスキームを採用することとしている。本手法を用いることにより、県の財政負担の削減や整備に要する期間の短縮等の効果が見込まれるところである。



(4) 地方創生をさらに加速化させるためには、中山間地域の振興が引き続き重要であり、県と して最大限の支援が必要と考えるが、どのように取り組むのか、所見を問う。

ポイント!

過疎地域等中山間地域の振興は行政の重要課題であるが、長期的に見ても過疎化に歯止めがかかっていない状況を見ると、大変難しい課題である。

(石井知事)

今年3月に制定された「中山間地域における持続可能な地域社会の形成に関する条例」を踏まえ、4月に「地域振興・中山間対策室」を新設して部局横断的な推進体制を強化するとともに、現在、有識者などによる検討会を設置して中山間地域の総合的な戦略の検討を進めている。県では、今年度から新たな支援策として、①集落支援を行う「地域コンシェルジュ」の配置(週5日勤務で現地では3日対応する)②地域資源を活用した新たな特産品開発の支援や発掘、③持続可能な地域交通網形成のための実証運行、④デマンドタクシーや市営バスの実証運行などの取り組みも開始している。今後とも、皆さんの声をよくお聴きしながら、市町村や関係団体と連携して、住民の皆さんが地域に誇りと自信を持てるよう総合的な中山間地域対策に積極的に取り組んでまいりたい。

(5) 富山県イノシシ管理計画における個体数の目標に対するこれまでの取組状況はどうか、また、今後どのように取り組んでいくのか、併せて問う。

ポイント!

平成 29 年に策定された富山県イノシシ管理計画では、令和 3 年度末の個体数を平成 27 年度末の推定個体数 4.872 頭以下に抑えるとしているが、本年度はその中間年にあたる。

(須河生活環境文化部長)

第2期イノシシ管理計画では、平成27年度に実施した個体数調査を踏まえ、「令和3年度末には、平成27年度末の推定個体数である4,872頭以下に抑える」ことを管理の目標とし、平成27年度の捕獲頭数は2,591頭、28年度には4,360頭、30年度には5,959頭と、毎年度、前年度の捕獲頭数を上回る捕獲実績となっている。

しかしながら、捕獲数や目撃数が増加を続けていたことから、平成30年度に再調査を行ったところ、 平成29年度末の推定個体数は約19,000頭となることがわかった。このため、今般の豚コレラ対策に 併せて、更なる捕獲強化を図る必要もあることから、前倒しで、できるだけ早くイノシシ管理計画の改 定に着手したいと考えている。

(6) 中山間地域における商業機能は、地域経済活性化のほか地域生活者の生活支援機能として も重要であり、県庁においても関係部局の共管事業として位置付け、支援していく必要が あると考えるがどうか、所見を問う。

ポイント!

中山間地域における商業機能の維持の課題は、本来採算性だけで論ずるべきではなく、地域を維持するための必要な機能として、地域においても様々な関係者が知恵を出し合って検討すべきである。

(蔵堀総合政策局長)

中山間地域では、人口減少や高齢化を背景とした地元商店等の廃業・撤退により、日常生活に必要な買い物に不便を感じている高齢者等のいわゆる「買い物弱者」の増加が懸念され、生活に必要な商業機能の維持に対する支援が重要と考えている。県では、移動販売車などで必要なサービスを提供する民間事業者等に対し支援しており、これら事業者の中には、移動販売に併せて、困り事などの「御用聞き」も行うことで、高齢者が住み慣れた地域で、できるだけ長く安心して暮らすことができるよう取り組んでいる。今年度、新たに、後継者のいない商店等を地域外の第三者に引き継ぐことで中山間地域において商業機能を維持できるかの可能性調査を実施することとしている。

(7) 富山空港周辺に武道館機能を有する多目的施設の立地や屋内型のアミューズメント施設の 誘致を検討してはどうかと考えるが、空港敷地内や周辺の県有地の有効活用についてどの ように考えているのか、所見を問う。

ポイント!

空車が多い富山空港の最南端の駐車場やその南側にある遊休県有地等の有効活用に加え、空港ターミナルビルや総合体育センターの利用促進にもつながると考える。

(猪俣観光・交通振興局長)

広い無料駐車場が富山空港のセールスポイントの一つとなっており、平日の利用が少ない最南端のG、 H駐車場においても、大型連休期間中には駐車スペースの7割以上が埋まっていることから、今後も現 在の駐車スペースを維持する必要があると考えている。また、南側の緑地については、滑走路に大変近く、 航空法による高さの制限を受けること、また、この緑地を含め空港スポーツ緑地については、航空機騒 音などを緩和する緩衝緑地として整備されたものであることから、武道館機能を有する多目的施設やア ミューズメント施設など、新たな開発には、地元の理解も含め、慎重な検討が必要と考える。

令和元年6月定例会 予算特別委員会

(1) 4月当初、富山市の小中学校において、臨任講師が配置されないという事態が生じたが、 4月当初と現在の未配置状況及び近年の臨任講師必要数の推移について、問う。

ポイント!

一部の学校で始業式当日に担任が発表できないという事態が発生した。

(伍島教育長)

4月1日現在で35名が未配置となり、これ までに24名を追加配置したが、新たに9名の 臨任講師が必要となったため、6/24 現在、20 名が未配置となっている。未配置となっている 学校では、必要に応じて非常勤講師を配置し、 業務の負担軽減に努めている。

未配置が生じた主な要因としては、ご要望も 踏まえ、富山市への新規採用者の配置数が少な かったことや、昨年度末に再任用予定者や正規 教員の急な退職が生じたことにより、臨任講師 の補充が難しい状況にあったことによるものと 考えている。

今後とも、各市町村教育委員会に対して、配



置が確実となる新規採用教員の配置受入について、理解して頂くよう要請してまいりたい。

(2) 新規採用教員を増やすべきであると考えるがどうか、問う。

ポイント!

民間企業を含め、人材確保が厳しい中、非正規である臨任講師の確保が困難なことは想定された ことではないか。

(伍島教育長)

今後、数年間300人台の退職が継続した後、200人前後へと急減することが見込まれることから、採 用数の平準化など、長期的な観点を十分に踏まえて対応する必要がある。

また、採用倍率が3倍を下回ると、質の低下が懸念されると言われており、教員採用選考検査の志願 者が減少傾向にある中、採用数を大きく増やすことは難しい面がある。優秀で即戦力となる人材を確保 するため、教員採用選考検査において、現職教員が受検する場合には、1次検査の筆記検査などを免除 するほか、専門科目である工業や看護、福祉については、教員免許を持たない社会人経験者も受検可能 とするなどの見直しを行った。今後とも、質の高い教員数の確保に努めたい。

(3) 県内の高齢者が関係する交通事故件数の推移や特徴、高齢者が加害者になった事故の割合 や推移について、問う。

ポイント!

県内の交通事故数は昨年まで18年連続で減少したと聞く。

(山田警察本部長)

本県における交通事故は、平成 12 年のピーク時から、昨年まで 18 年連続で減少している。この間、 高齢者が当事者となる事故の件数も減少傾向にあるものの、交通事故死者に占める高齢者の割合は、平 成 26年の54.5%から昨年64.8%に増加しており、昨年の全国平均55.7%を大きく上回っている。

高齢者が第1当事者となった事故件数は、過去5年間で、912件から671件へと減少してはいるもの

- の、事故件数全体が減少傾向にあるなか、その割合は、20.8%から23.6%への増加がみられる。
- (4) シニアカーは、高齢者の行動範囲を広め、生活の質の向上に資するが、普及が進むととも に交通事故の発生も懸念されることから、安全利用の啓発など何らかの安全対策が必要と 考える。本県における交通事故発生状況や安全対策について、問う。

ポイント!

電動車いす安全普及協会によると、全国で年間2万台以上出荷されているが、歩道での歩行者と の衝突事故などが発生している。

(山田警察本部長)

電動車いすが関係する交通事故の発生状況については、昨年中、全国で 201 件、本県においては 5 件 発生している。 5 件すべてが車両との衝突で、横断歩道や歩道を進行中に発生したものである。

県警察では、交通安全教室の機会において、ドライバーに対しシニアカーは歩行者と同様であり、横断歩道を横断しようとする者がいれば停止することなどを啓発する一方で、昨年 646 会場で開催した高齢者を対象とした「いきいき教室」において、斜め横断などの危険な交通行動をとる方には、現場での直接指導を行うなど、電動車いす等を利用する方の交通事故の防止に努めている。

(5) 人手不足が多くの業界に広がる中、働く意欲ある高齢者が培った技術や経験を活かして働き続けられるよう、高齢者の人材確保対策が重要と考えるが、県内における高齢者の雇用 状況や高齢者の多様な就業機会の創出に向けた取組みについて、問う。

ポイント!

高齢者には、より柔軟な就業形態等により、健康に無理のない形で多様なライフスタイルを選択できる就業機会を提供すべきと考える。

(石井知事)

県内の高齢者雇用の状況については、65歳以上の労働者数は平成25年の7,322人から平成30年の14,329人と約2倍に増加しており、高齢者の就労意欲は高くなっている。

県では、高齢者の多様な就業機会の創出に向けて、シニア人材バンクにおいて、昨年度から県内5か所のハローワークと連携した出張相談会を開催し、高齢者と企業とのマッチングの強化を図ってきた。この結果、昨年度の高齢者のマッチング件数は過去最高の585名となった。

今年度は、合同企業説明会を拡充して実施するなど、更なる高齢者と県内企業とのマッチング強化を 図ってまいりたい。

(6) 成年年齢の引下げに伴い、成人式が従来どおり1月に開催されるとすれば、高校3年生にとって大学受験や就職を控える多忙な時期の開催となり、また、18歳で親の同意なしに契約可能となることから、消費者被害に遭わないための教育も重要だが、これらの問題をどう捉えているのか、問う。

ポイント!

成年年齢を 20 歳から 18 歳に引き下げること等を内容とする民法を改正する法律が成立し、 2022 年 4 月から施行されることになった。

(伍島教育長)

成年年齢の引下げに伴う若年者の消費者被害防止・救済のため、また、社会の一員として行動する自立した消費者の育成のため、これまで以上に実践的な消費者教育の充実を図ることが大切である。学校における消費者教育については、現在も小中高校において実施しているが、高校では、次期学習指導要領において、公民の新科目「公共」や家庭科の「家庭基礎」等において更に充実することとされ、さらに、令和2年度以降の入学生は、成年となる前の1、2年生で消費者教育に関する内容を履修することとしている。





._

- 7日 県議会議員選挙 (2期目当選)
- 8日 大沢野中学校入学式
- 9日 中央農業高校入学式
- 10日 当選証書付与式
- 12日 大沢野遺族会総会 大山ごんべ祭り
- 13日 上滝、大庄自治振興会総会 高砂願念坊まつり 大沢野小地域連携親睦会
- 14日 大山ごんべ祭り
- 16日 自民党期別幹事会
- 20日 大沢野自治振興会、防犯協会ほか総会
- 21日 大久保自治振興会総会 立山山麓森林組合総代会
- 22日 富山市南商工会青年部総会
- 24日 県議会当選者総会 富山市南商工会女性部総会
- 25日 護国神社春季祭礼

5月

- 8日 議員総会、全員協議会、組織議会
- 10日 政調会観光建設部会
- 12日 党県連支部長幹事長事務局長会議
- 13日 議会運営委員会、議員総会
- 15日 県連政務調査会
- 16日 富山市南商工同友会総会
- 17日 宮崎雅夫支援団体会議 富山土地改良協議会総会
- 18日 大久保小運動会 大沢野防犯協会総会
- 19日 下大久保自治振興会総会
- 20日 政調会地域ブロック会議 耕友OB会総会
- 21日 佐藤信秋支援団体会議
- 22日 富山市南商工会総代会 大沢野機械工業センター総会

井上学の主な活動

- 23日 日台観光サミット (~26日)
 - 大久保用水土改要望
- 24日 中央農業高校教育後援会総会 党大沢野支部総務分会長会議
- 25日 大沢野小学校運動会 党県連定期大会
- 26日 猿倉山フェスティバル 消防友の会総会
 - B S 富山市第10団育成会総会
- 27日 県連政務調査会
 - 日台交流サミット委員会
- 28日 政調会正副部会長会議 党職域支部友好団体懇談会
 - 富山市ボート協会総会
- 30日 県道富山上滝立山線同盟会ほか総会 重要要望レクチャー
 - 船峅商工振興会、大沢野工業クラブ総会
- 31日 北信越県議会議員野球大会 (~1 福井)

6月

- 2日 朝間野球上新川大会表彰式 橋本聖子支援団体会議
- 3日 富山県町村議会議長会総会
- 5日 中大久保企業協議会総会
- 7日 令和2年度県重点事業中央省庁要望
- 9日 参議院選挙選対会議
- 10日 経営企画常任委員会
- 11日 6月定例会開会、提案理由説明 観光振興議員連盟等総会
- 12日 MOA議連総会
- 13日 代表質問
 - 政調会正副部会長会議
- 14日 上婦負自治振興連絡協議会 北信越国体ボート競技開会式
- 党大沢野支部総務分会長会議 15日 大野黒部市長を囲む会
- 16日 大沢野方面団消防操法大会

第2選挙区支部定期大会

- 17日 一般質問 (1日目)
- 18日 党大沢野支部女性部会議
- 19日 一般質問 (2日目)
- 20日 ゆーとりあ越中20周年記念式典
- 21日 予算特別委員会 (1日目)
- 22日 大山方面団消防操法大会
- 23日 細入方面団消防操法大会 立山黒部を愛する会総会
- 24日 党県連友好団体巡回
- 25日 予算特別委員会 (2日目)
- 26日 経営企画常任委員会
- 27日 議員総会、採決
- 28日 雅友会総会、講演会
- 30日 党大沢野支部総務分会長会議

7月

- 1日 日台交流サミット委員会
- 3日 日台友好議連総会講演会
- 4日 堂故茂候補本部出陣式
- 5日 堂故候補大沢野、大山、細入支部出陣式
- 7日 富山市消防団消防操法大会
- 9日 東部山麓道路、北アルプス横断道路総会 大沢野地区自治振興会要望ヒアリング
- 11日 堂故候補大沢野細入個人演説会
- 12日 大沢野小学校教育推進協議会 堂故候補大川個人演説会
- 15日 第2選挙区支部巡回
- 16日 政談演説会
- 21日 参議院選挙投票日
- 22日 日中友好議連総会講演会
- 24日 中川議長就任祝賀会
- 25日 議員総会、政調会観光建設部会
- 26日 富山南警察署安全祈願祭
- 27日 船峅土改総代会
- 29日 経営企画委員会県外視察(宮城福島~31日)

井上学の主な活動

8月

- 1日 富山市民感謝と誓いの集い
- 2日 政調会
- 3日 井上学杯パークゴルフ大会 上大久保6区、下タ北部地区納涼祭
- 4日 猿倉ローラースキー大会 大沢野少年相撲大会 東大久保地区納涼祭 後援会高内支部総会
- 5日 富山県日中友好議員連盟総会
- 6日 政調会志賀原発視察
- 7日 平和大使協議会県政報告会
- 9日 党農業問題調査会県内視察 日韓友好議員連盟総会
- 11日 大沢野住民パークゴルフ ボーイスカウトキャンプ激励
- 15日 県戦没者追悼式
- 18日 ふるさと美化大作戦
- 19日 政調会ヒアリング 国道359号線同盟会ほか総会
- 20日 政調会正副部会長会議

党支部役員会

- 21日 日帰りドック
- 22日 中央省庁意見交換会ふくらぎ会
- 23日 政調会党本部勉強会
- 24日 県青年議会委員会 大沢野花火大会
- 25日 立山山麓夏フェスティバル
- 26日 政調会

スポーツ議連、拉致議連総会

- 28日 県道路課打合せ
- 29日 党役員会
- 30日 政調会、議員総会、企画委員会
- 31日 後援会八木山支部総会

9月

- 1日 合唱団おおさわのコンサート 後援会支部長会議
- 2日 日台交流サミット実行委員会
- 4日 北陸3県議員ゴルフ
- 6日 経営企画常任委員会
- 7日 大沢野中、富山高等支援学校運動会

- 8日 猪谷関所館飛越ふれあい祭り
- 10日 党朝勉強会、議員総会 9月定例会提案理由説明
- 12日 代表質問
- 15日 新美自治公民館運動会
- 16日 後援会執行部会
- 17日 一般質問1日目
- 18日 砂防促進議連現地視察(氷見市)
- 19日 一般質問2日目
- 21日 党憲法改正勉強会
- 22日 高内地区3世代ふれあい会
- 24日 予算特別委員会1日目
- 25日 観光振興議員連盟意見交換会 看護議連、宅建議連総会
- 26日 予算特別委員会2日目
- 27日 経営企画常任委員会、議会運営委員会
- 28日 日台交流サミット (~29日) 第2選挙区支部役員会
- 29日 下タ北部地区運動会
- 30日 議員総会、9月定例会採決

主な役職

県議会における所属委員会・部会・議員連盟・ 調査会等

<県議会委員会>

経営企画常任委員会 副委員長 総合交通県土強靭化特別委員会 委員

<自民党>

県連政務調査会 副会長 政調会観光建設部会 部会員 県第2選挙区支部 副幹事長

<議員連盟>

日中、日韓、日台、日露友好議員連盟 山村振興、スポーツ振興議員連盟 砂防促進、拉致、観光振興議員連盟 自衛隊支援、スカウト、オイスカ議員連盟 看護、宅建議員連盟 商工会、MOA議員連盟 富山県南米協会 県東部地域活性化協議会

<自民党調査会>

富山湾未来創造調査会 雇用問題、医療問題調査会 農業問題、水産問題調査会 中山間地域振興調査会

プロフィール

誕生日/昭和33年8月20日 婦中町羽根川口生まれ

古里小学校・城山中学校・富山中部高校・新潟大学農学部卒業

昭和56年/富山県庁入庁

平成26年/農村振興課長で富山県庁退職

平成27年/富山県議会議員初当選

平成31年/富山県議会議員2期目当選

連絡先

【富山県議会自民党控室】

〒930-8501 富山市新総曲輪 1 — 7 TEL 076(431)5244 FAX 076(441)8421

【事務所・自宅】

〒939-2254 富山市高内52-7 (旧大沢野町)

TEL 076 (467) 2359 FAX 076 (403) 2620

携 帯 090 - 9767 - 1098

ホームページ hppt://www.inoue33.net/

E-mail gaku2014@yahoo.co.jp

県議会の詳しい様子は、

富山県議会のホームページでご覧いただけます。

富山県議会 🔼 http://www.pref.toyama.jp/sections/0100/

■各種要望、座談会開催受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡 下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政 報告会を開催させて頂きます。お気軽にお声かけ下さい。